

療護施設の学会発表テーマ

療護施設が、日本脳神経外科学会及び日本意識障害学会等において発表(地元大学等と連携したものを含む。)したテーマは次のとおり。

【平成 30 年度】

- ・重症頭部外傷後遺症患者に伴う外傷性嗅覚障害の診断
- ・当院のリハビリテーション科における医療安全の取組み
- ・臨床PET検査法 患者接遇
- ・血中カリウム濃度が異常高値を示した一例
- ・頭部外傷後遷延性意識障害患者に対する 18F-FDG-PET/CT 画像を用いた神経症状の予測
- ・PET 業業務における個人線量計に対する方向依存性への影響について
- ・正当化逐次近似再構成アルゴリズムの基礎的検討でわかった留意点～収集時間を長くしても SUV は安定しない～
- ・正当化逐次近似再構成アルゴリズムの基礎的検討でわかった留意点～ピクセルサイズを大きくしすぎると S/N が悪くなる～
- ・慢性期重症頭部外傷患者の経時的脳糖代謝変化に関連する臨床所見
- ・SAH：血管内治療 1
- ・外傷性遷延性意識障害患者の体重変動に関する因子の検討
- ・アクションカードを用いた訓練の実際と防災の備え
- ・受傷から 1 年 8 ヶ月を経て食事の経口摂取が可能となった重症頭部外傷の一例
- ・遷延性意識障害症例に対する経頭蓋直流電気刺激を用いた治療介入プロセスと結果
- ・遷延性意識障害スケールの考え方
- ・成人における脳実質内症候性くも膜嚢胞に対する内視鏡手術—後期高齢者を含む 3 症例の報告—
- ・脳卒中急性期に長下肢装具を必要とする片麻痺者における発症 1 ヶ月後の短下肢装具への移行を予測する因子の検討
- ・長下肢装具から短下肢装具への移行を検討した脳卒中後失調性片麻痺を呈した症例に対する歩行練習の再考
- ・補足運動の損傷例に対する理学療法経過と下肢運動麻痺の改善経過
- ・脳卒中者の歩行自立度を予測しうる脳画像所見とは？VOXELbased lesion Symptom mapping を用いた歩行自立度関連病巣解析
- ・急性期脳卒中片麻痺者に対する長下肢装具作製の必要性判断に関連する因子)
- ・学会発表脳卒中者の筋緊張異常と腱反射異常と関連する脳損傷領域とは？ Voxel based lesion symptom mapping を用いた病巣の特定の試み
- ・中枢神経内多発血管症により両片麻痺を停止歩行に全介助を要した状態から長下肢装具を用いた歩行練習を実施し監視歩行を獲得した症例
- ・異なる評価スケールを用いた contraversive pushing の重症度における半球間差異の検討
- ・拡散テンソル画像を用いた皮質網様体路との評価と歩行能力との関係
- ・脳卒中後に生じうる pusher 現象の重症度と改善軽快における半球間差異～Burke Lateropulsion scale を用いた前向き臨床試験～

- ・臨床の脳画像所見と理学療法の実際
- ・遷延性意識障害患者の在宅ケアサポートブック（Q&A）
- ・油圧制動付短下肢装具を用いた歩行練習を継続し歩容の異常と歩行速度の改善に至った重度の運動失調を呈した頭部外傷後遺症例
- ・頭部外傷後遷延性意識障害～重度高次脳機能障害患者に対する看護師の困難感
- ・視線入力による意思伝達装置で高次脳機能障害の評価が可能になった一例
- ・意識障害患者の栄養管理
- ・NASVA スコアに対する Rasch 分析（共同研究者として）
- ・自動車事故後の遷延性意識障害患者に対する NICD の部分的介入の取り組み
- ・岡山県地域包括ケアシステム学会（微量栄養成分欠乏に関する他施設との情報共有
- ・長下肢装具と動画デバイスを併用した歩行練習が基本動作能力の改善に寄与した症例
- ・銅欠乏による好中球減少症の 1 例
- ・当院における住宅改修を必要とする自宅退院患者への関わりについて
- ・遷延性意識障害患者の食事療法-EPA・DHA 含有半固形状流動食の高トリグリセリド血症に対する効果-
- ・重症頭部外傷慢性期におけるアミロイド沈着と脳機能的結合への影響
- ・髄膜腫の PET 検査の特徴と有用性
- ・頭部外傷による遷延性意識障害患者の γ 帯域聴性定常反応の検討
- ・転移性脳腫瘍の” Comet tail sign” における methionine 集積に関する検討
- ・筋緊張緩和ケアによる頸部可動域の向上及び意思表出に向けた取り組み
- ・筋緊張緩和への取り組み
- ・頸部拘縮の改善から、身体機能の再獲得に向けた看護ケアの実践
- ・鍼刺激中および鍼治療期間前後の局所脳血流の評価を行った遷延性意識障害の 1 症例
- ・重度高次脳機能障害患者に対し、BWSW にて歩行練習を行い、ADL 介助量が軽減した一症例
- ・頭部外傷後遷延性意識障害患者に対して前傾立位を実施し意識障害が改善した 1 症例
- ・患者の「食べたい」に着目した訓練で嚥下・言語機能の改善を認めた症例
- ・介入方法の工夫により作業遂行への耐久性が向上した高次脳機能障害例
- ・脳機能的結合解析による重傷頭部外傷後遷延性意識障害慢性期予後改善因子検出の試み
- ・軽度外傷性脳損傷後遺症におけるセロトニン仮説
- ・Meningioma に対するメチオニン PET 検査の検討
- ・Comet tail sign のメチオニン集積に関する検討)
- ・遷延性意識障害に対する ADL 回復に向けた NICD の取り組み
- ・音楽を付随させた go/no-go 課題による脳機能の賦活状態
- ・転移性脳腫瘍の PET 所見の原発巣別特徴の検討
- ・転移性脳腫瘍における” Comet tail sign” のメチオニン集積に関する検討
- ・重傷頭部外傷慢性期における脳幹部からの機能的結合の傾向
- ・自動車事故による頭部外傷後遷延性意識障害患者の現況調査～有用な在宅退院支援の検討～
- ・Comparison of measured values on ^{11}C -methionine and ^{18}F -fluorodeoxyglucose PET obtained with two different scanners in normal brain and brain tumor

- ・ 遷延性意識障害患者の H2150-PET と 99mTc-ECD-SPECT の比較検討
- ・ 遷延性意識障害患者の意思疎通グレーディング評価と脳糖代謝
- ・ MRI 構造画像において可視病変を示さなかった慢性期軽度外傷性脳損傷患者の脳糖代謝と神経心理学的症候)
- ・ 遷延性意識障害を有した NASVA 病棟患者の 3 年間の回復過程の調査
- ・ 遷延性意識障害を来たした患児の在宅復帰を可能にした看護師と多職種協働の検討
- ・ 刺激療法
- ・ 一貫症例研究委託病床における看護ケアアプローチの取り組み報告
- ・ 遷延性意識障害に対する脊髄電気刺激療法
- ・ 頭部外傷後遺症のある患者の生活改善を見据えたアプローチ
- ・ 長期療養における意識障害患者の家族の心情に寄り添う看護
- ・ トイレ誘導の工夫により自発性向上に繋がった ADL 全般に拒否的な頭部外傷患者の一例